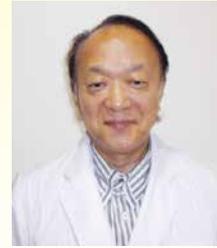




AMEDと医療、 そして東札幌病院

東札幌病院副理事長、病理・免疫センター長

AMEDプログラムオフィサー 佐藤 昇志



皆様、札幌にも冬の寒さが去り、嬉しい春が訪れつつあります。雪が壮大に融ける喜びは雪の北国に住む人にしか体験できないまさに隠された宝石のような景色と私は思っています。この時期が最も好きです。この独特な喜びを、東京の人々は知らないでしょう。

そういう自然のパノラマを感じつつ東京へAMEDの仕事でいかせていただき、病院留守のことも少なくとも申し訳ありません。そこで、そのAMEDとはどんなものなのかを簡単に紹介します。

AMEDは正式には国立研究開発法人 日本医療研究開発機構で英語のJapan Agency for Medical Research and Developmentの略称で下線のアルファベットをとったのでしょ、医学会や研究の分野ではAMEDで通っています。2015年に設立されましたが、急速に知名度が上がりAMEDとしてマスコミでも頻繁に出ています。当時の政府が掲げる「日本再興戦略」の柱として鳴り物入りで設立されました。

AMEDのことはよく米国NIH (National Institute of Health、国立衛生研究所)の日本版と紹介されます。確かに、そのような組織として動いています。以前は基礎医学研究は文科省、臨床研究、応用研究、医療関連は厚労省、経産省などが関係して研究助成、育成を行ってきました。AMEDはそれらを一本化し、まさに米国NIHのように医学に関する基礎研究、臨床研究そして医療への具体的応用研究を国家として支援、育成し、世界への貢献を目指そうとしています。横断的なため内閣府がしきり、2018年の予算は1300億円に達しています。

AMEDは今の医学医療のいろいろな課題に広く対応しています。再生医療、認知症の医科学研究などはいかに及ばず、その中でもやはり重要な柱として「がん医学、医療」があります。比較的基礎研究に重点をおいた「次世代がん研究」と、臨床研究に重点を置いた「革新がん研究」などがあり、我が国から圧巻の研究を世界に発信し、患者さんに提供しようとしています。現在、日本における250-300の様々ながん研究課題に助成し育成を図っています。

その中で私はプログラムオフィサーとして免疫領域を設立時から担当しています。多い時で月5-6回の会議があり、東京の人は数時間で終わりますが、札幌からは夏は日帰り、冬は二日ばかりでいっています。幸い近年、免疫がとても重要と注目を増しています。みなさんご存知の免疫抑制を解除するオプジーボがその代表です。これはAMEDのがん研究が支援してきた京都大学本庶教授の研究であり、昨年のノーベル賞受賞につながったものです。他にも素晴らしい研究が多数なされ、いずれ著効な新薬としてデビューが期待されています。

しかし私が懸念するのはいずれも超高額の医療費です。2月に保険認可された血液腫瘍に著効を示すとされるCAR-T細胞という治療は1回に5000万円も必要です。しかもごく限られた施設でのみです。医療に大事なのは日本で数施設しかできない治療法ではなく、例えば東札幌病院でごく普通に、多くの診療科の医師が安心して使用できる治療法を見つけることです。でなければ真のがん医療への貢献とはいええず、患者さんへの恩恵とはなりません。その意味で、数千円-数万円で治療が可能になるかもしれない札幌医大のがん抗原の先端研究等も大変期待されています。

AMEDはこういう研究を育てようとしています。私もプログラムオフィサーとして少しでも尽力したいと願っているところです。

大木隆生教授のご講演を拝聴して

内科部長 三原 大佳

去る平成31年2月15日、西棟4階コスモスに於いて東京慈恵会医科大学血管外科 大木隆生教授の講演会が開催された。「無給医からいかにして米国医科大学教授になったか ～ときめきファインダーの足跡～」というテーマの大変興味深いお話であり、以下に概要を紹介する。

大木先生は慈恵会医大をご卒業後、米国ニューヨーク市のアルバート・アインシュタイン医科大学に無給医局員として留学され血管外科学の研究に従事、優れた業績を上げ教授まで登り詰めるが、ほどなく帰国され母校の教授に就任された。この成功譚を軸としてキャリア形成の要諦や医師としての哲学について、時にユーモラスに熱く語られた。まず冒頭では自己紹介かたがた、帰国後マスメディアと交わした一連のエピソードについてお話しされた。ニューズウィークやNHKの取材を受け「神の手」などと持ち上げられたと思ったら、某週刊誌から謂れのないバッシングを受けプライバシーまでさらけ出されるなど、高い有名税を払ったそうである。留学当初から研究目標を明確に定め、論文のための基礎研究には進まず、実臨床に役立ち患者から感謝される臨床研究を目指したとのこと。米国の学会で認められるためには日々の研鑽はもちろんのこと、著明な研究者を自室に呼んで反証実験を行うなど強い行動力も必要であり、人並み外れた努力を継続する姿は修行僧のようにも感じられた。米国における業績評価は人事だけでなく金銭面にも露骨に反映するものであり、教授時代は日本の年収の10倍に達したがモチベーションは上がらず、母校で新たな一歩を踏み出すため帰国されたとのこと。その理由が、講演のメインテーマである「トキメキ」へと繋がってゆく。幼少期に他人の役に立ちたいと思い医師を志

し、大学の教養課程では仲間とテニスに明け暮れ医科大学リーグで優勝、人生これ以上ないトキメキを感じた。それから30年以上たつ現在まで、仲間と共に切磋琢磨し歩み続けるトキメキが活動の原動力であった。この経験に裏打ちされたメッセージ「衣食足りたらトキメキを求めよ」の意味するところは、お金で得られる満足はたかが知れており、必要十分な収入が得られたら夢や理想に邁進せよ、ということと理解された。

最後の質疑応答では、「白人社会で孤軍奮闘しながら成果を得ることができたのは家族あってのこと」と感動的にまとめられた。講演後、懇親会の席で伺ったのだが、先生が母校に着任してから外科講座への入局者数が著しく増えたそうである。近年、コスパ至上の若者達は外科系講座への入局を避ける傾向にあるが、医局に充満するトキメキが彼らの価値観を変えたのだろう。帰国当初は全国から患者が集まり、午前9時から翌朝5時まで徹夜で外来業務をこなしていたとのこと。診療・手術に加え教育、研究、論文査読や医療行政への提言までこなすハードな日々とのことゆえ、ご自愛いただきたく感じた次第である。



新任医師紹介

2019年に着任した2名の医師を紹介します。



内科部長

長岡 康裕

3月より内科に着任いたしました、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は平成7年に札幌医科大学卒業後、第四内科学講座(現腫瘍内科学講座血液内科学)に入局致しました。いくつかの教室関連病院で研修、勤務した後、前職の時計台記念病院では約10年間消化器内科診療を担当しておりました。

今回、大学生時代から大変お世話になっている、石谷理事長、照井院長のご配慮をいただき、当院に採用していただくこととなりました。

赴任して数週間ですが、東札幌病院の理念である「医療の本質はやさしさにある」が、病院全体に非常に浸透しているという事に大変感動しております。先生方や看護師さんをはじめ、職員の方々からやさしさが伝わってきますし、院内の雰囲気や設備など、そこかしこに、やさしさと、気づかいがたくさん散りばめられていることを実感致しました。奇しくも私自身、ここ数年「患者様にやさしい医療、内視鏡診療」を目標として診療して参りましたので大変共感致しました。

当院はがん診療、緩和医療に関して国内有数の施設ですので、今後は多くのことを学ばせていただき、消化器内科診療はもとより、がん診療、緩和医療、地域医療などを担当させていただければと思っています。

すでに卓越した域に達している東札幌病院の診療体制ですが、さらに充実するように、また、地域の患者様と東札幌病院の皆様にお役に立てることが出来るよう、微力ながら、一步一步努力して参る所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。



口腔外科

高田 恵李佳

皆様はじめまして。私は広島県出身で北海道医療大学を卒業し、平成24年に北海道大学口腔診断内科学教室(旧第一口腔外科)に入局致しました。北海道大学病院で1年間の研修を終えた後、北海道大学大学院へ進学し、研究を行いつつ日々診療に携わって参りました。大学院卒業後は2年間、口腔内科にて医員として勤務し、この度東札幌病院口腔外科に勤務させていただくことになりました。

近年、口の健康と全身の健康状態との関連が注目されるようになり、医科と歯科の連携が非常に重要視されております。特に病院歯科においては、周術期や化学療法・放射線療法中の患者様も多く、適切な口腔管理を行うことで、原疾患の術後合併症やトラブルを減少させることができると言われております。この度、東札幌病院で勤務する機会をいただきましたので、歯科という立場から、様々な疾患と闘う患者をサポートし、患者様がより良く生きるための医療を提供できるよう努めて参ります。

「医療の本質はやさしさにある」という東札幌病院の理念のもと、患者様にひとりひとりに寄り添い、地域医療に貢献したいと考えております。至らない点も沢山あると思いますが、精一杯頑張りますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

がん緩和ケアに関する

第3回札幌カンファレンスのご案内

第3回札幌カンファレンスのプログラムが決定いたしました。世界の第一線で活躍する研究者の方々に、興味深いテーマでご講演いただく内容となっており、活発な意見交換も期待され、これまで以上に熱を帯びたカンファレンスとなることと思います。また、今回は初の試みとして一般演題の募集も行います。演題募集や参加登録等の最新情報は公式サイトで随時掲載して参りますので、こちらもご参照ください。(http://www.sapporoconference.com/)

シンポジウム 1 2020年8月21日(金) 8:00-12:00

オピオイドとがんの痛み: 進化するその科学と実践

座長: **Russell Portenoy** (MJHS Hospice and Palliative Care, USA)

副座長: **山蔭 道明** (札幌医科大学)・副座長: **下山 直人** (東京慈恵会医科大学)

序論

Russell Portenoy (MJHS Hospice and Palliative Care, USA)

オピオイド受容体: 構造と機能、そしてその可塑性

Christoph Stein (Charité-Universitätsmedizin Berlin, Germany)

遺伝子多型性とオピオイドの損益との調和について

Pål Klepstad (Norwegian University of Science and Technology, Norway)

がん疼痛管理のシステムの変革に向けて一病態全体から痛みを考える

Marie Fallon (University of Edinburgh, UK)

科学的なオピオイド臨床応用の3事例:

オピオイド・ローテーション、突出痛への対応、メサドンの役割

Eduardo Bruera (University of Texas MD Anderson Cancer Center, Texas, USA)

【基調講演】“臨床における調和”最善の臨床を通して、利益を最大に損益を最小に

Russell Portenoy (MJHS Hospice and Palliative Care, USA)

パネルディスカッション／質疑応答



プレナリーセッション

2020年8月21日(金) 13:00-17:00

オンコロジーと緩和ケアの統合: 適切な患者のために、
適正な時期に適正な介入を提供する

David Hui (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

座長: **佐治 重衡** (福島県立医科大学)

血液悪性腫瘍の根治的治療と緩和ケアの統合について

Thomas William LeBlanc (Duke University School of Medicine, USA)

座長: **小船 雅義** (札幌医科大学)

免疫療法治療薬に伴う免疫関連有害事象

Aung Naing (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

座長: **高橋 孝郎** (埼玉医科大学国際医療センター)

がんリハビリテーションと緩和ケア

Julie Silver (Harvard Medical School, USA)

座長: **辻 晃仁** (香川大学)

ランチオンセミナー

2020年8月21日(金) 12:00-13:00

オンコロジーと緩和ケアの統合、
その歴史と未来への方向性

Stein Kaasa

(Norwegian University of Science and Technology, Norway)

座長: **照井 健** (東札幌病院)

完全
同時通訳

第三回

がん緩和ケアに関する
国際会議開催概要

主催 医療法人 東札幌病院
後援 がん緩和ケアに関する国際会議
大会長 照井 健 (医療法人東札幌病院)

国際会議



シンポジウム 2 2020年8月22日(土) 8:00-12:00

なぜ緩和ケアにスピリチュアル・ケアを組み込むことが必要なのか

座長: **Christina Puchalski** (George Washington University, USA)

副座長: **Betty Ferrell** (City of Hope Comprehensive Cancer Center, USA) ・ 副座長: **渡邊 知映** (上智大学)

【基調講演】チームによるスピリチュアル・ケア: アセスメントから実際の患者サポートまで
Christina Puchalski (George Washington University, USA)

スピリチュアル・ケアにおけるコミュニケーションについて
Betty Ferrell (City of Hope Comprehensive Cancer Center, USA)

スピリチュアル・ケアの介入を支持するエビデンスについて
Karen Steinhauer (Duke University School of Medicine, USA)

スピリチュアル・ケア専門家から見た緩和ケア
Anne Vandenhoeck (Katholieke Universiteit Leuven, Belgium)

“スピリチュアル”な苦悩と向き合う一欠くことのできない症状コントロールとして
Marvin Delgado (University of Texas MD Anderson Cancer Center, USA)

パネルディスカッション／質疑応答

プレナリーセッション

2020年8月22日(土) 13:00-17:00

緩和ケアの実存的問題におけるサイコオノロジーの役割

Friedrich Stiefel (University of Lausanne, Switzerland)

座長: **中村 健児** (東札幌病院)

実存的脅威に直面する患者とのコミュニケーションについて

Peter Salmon (University of Liverpool, UK)

座長: **大西 秀樹** (埼玉医科大学国際医療センター)

実存的に苦悩する患者はいかに臨床医に影響を与えるか

Sarah Dauchy (Institut Gustave-Roussy, French)

座長: **清水 研** (国立がん研究センター中央病院)

「死と死に逝く過程を語ること」の緩和ケアにおける功罪について

Camilla Zimmermann (University of Toronto, Canada)

座長: **中川 俊一** (Columbia University Medical Center, USA)

ランチョンセミナー

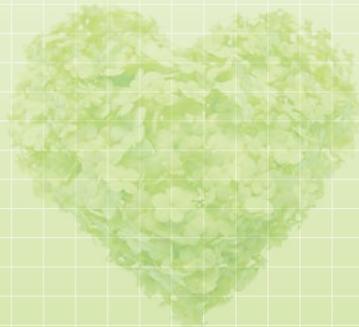
2020年8月22日(土) 12:00-13:00

緩和医療学の哲学と宗教の関係について

Frank Brescia

(Medical University of South Carolina, USA)

座長: **三宅 智** (東京医科歯科大学大学院)



会期 2020年8月21日(金)・22日(土)

会場 札幌パークホテル
〒064-8589 札幌市中央区南10条西3丁目
TEL 011-511-3131 http://www.park1964.com/n_access/

事務局 医療法人 東札幌病院

〒003-8585 札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35
TEL 011-812-2311 FAX 011-823-9552
E-mail: office@sapporoconference.com <http://www.sapporoconference.com>

石谷理事長の スキー 讃歌

その22



日本のアルペンスキー界の 発展を願って

快挙である。私たちが応援しているアルペンスキー選手、石井智也君(「窓」93号参照)がこの2月に開催された世界選手権の大回転競技で24位であった。知る限りでは日本で初めてのこと(選手が30位以内になることに各国は鎬を削っている)。昨年のオリンピックでも同種目の30位。今の実力が本物であることを示している。この後も続くワールドカップでの活躍を期待している。

残念ながら現在日本のアルペンスキーはマイナースポーツの様相を呈している。しかしヨーロッパ、北米では花形スポーツでありアジアでも盛んになってきた。

アルペンスキーを愛する私は現状を憂いその隆盛を願って止まない。

数年前からナスターレース協会に協力している。同協会はアルペンスキー競技者の裾野であるユース世代の環境作り、選手拡大と育成のために、その世代のスキー大会を過去20年主催してきた。毎年優秀な成績を修めた10名をFIS(International Ski Federation, 国際スキー連盟)主催のユース世界大会に派遣している。世界レベルを体験し、世界を視野に入れたアスリート感覚を得てもらい、最終的にはオリンピックでのメダル獲得を目指している。全日本スキー連盟と

(株)ゴールドウインの協力を得、名誉会長に1956年のオリンピックの回転競技銀メダリスト猪谷千春氏、理事長は三浦豪太氏が務めている。2020年には同協会主催で苗場スキー場でユース世界大会が開催される。

そして最近さらに嬉しいことがあった。当院の佐々木あづさ看護主任の息子さん、權君がこの2月、平成30年度全国中学校体育大会・第56回全国中学校スキー大会 大回転競技で10位入賞を2年生で勝ち取ったことである。その結果来年の同大会の出場とジュニアオリンピック出場が決定された。權君が幼稚園の頃札幌市Fu'sスキー場で出会い札幌アルペンスキー少年団(私は当時その成年部)への入部を勧めたことに始まる。同少年団は50年の歴史を持ち多くの優秀なアスリートを輩出している。權君は背は伸びてきたようだがまだ身体が細く中学生としては不利な条件である。しかし今回の成績は驚くに値する。ここ数回の大会で常に良い成績を修めているという。一皮向けた技術レベルになっているのであろう。彼と会う度に「ジンギスカンをたくさん食べよ」「文武両道!」と言っている。アルペンスキーに熱心な子は自律(立)心が強いと信じているのは我田引水であろうか。

外来医師スケジュール

内科

(平成31年3月1日～)

	診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	1診	照井	平山	照井	平山	照井	交代制
		2診	石谷	伊藤	石谷	中村	町野	
		3診	日下部	長岡	渡邊	長岡	日下部	
		4診	伊達	石谷	伊達		三原	
		5診	高木	古谷	高木	秋津 (~11:30)	秋津 (~11:30)	
		7診	久村		三原			
		8診	二階堂	二階堂	二階堂	二階堂	9診 二階堂	
午後	13:30~17:00	1診	三谷	小野	平山	須釜	三谷	休診
		2診	中村	札幌医大 出張医	札幌医大 出張医		札幌医大 出張医	
		3診	町野	渡邊 (~16:30)	町野	伊藤	須釜	
		4診		三原	小野	伊達	中村	
		5診	秋津			高木		

外科

	診療時間		月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	6診	空閑	染谷	目黒	染谷	柏木	交代制
		7診		大村 (乳腺・甲状腺)		大村 (乳腺・甲状腺)		
	9:00~12:00 (整形外科)	8診					江森	
午後	13:30~17:00	6診	目黒		柏木/目黒		空閑	休診
		7診		大村 (乳腺・甲状腺)				
	13:30~17:00 (整形外科)	5診		井須	井須			

口腔外科(予約制)

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	水越 / 太子 / 高田					交代制
午後	13:30~17:00	水越 / 太子 / 高田					休診

※土曜日は交代制となっております。詳細はお問い合わせください。

※当院では、待ち時間短縮のために予約制を導入しております。予約外診療も行っております。詳細は受付にお問い合わせください。

※乳腺外来(緊急以外は、要予約)

毎週火曜日/9:00~11:30、13:30~15:00 木曜日/9:00~11:30 担当医師:大村

※禁煙外来(予約が必要です)

毎週木曜日・金曜日/11:30~12:00 担当医師:秋津



医療法人東札幌病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（一般病院2 3rdG: Ver.1.1）、付加機能（緩和ケア機能）の認定を受けています。

■認定期間
2015年9月26日～2020年9月25日



日本医療機能評価機構
認定第 JC669 号

一般病院2 3rdG:Ver.1.1



●交通のご案内
地下鉄東西線「東札幌駅」より
徒歩5分

駐車場について

当院の駐車場はゲート式になっております。駐車場ご利用の方は、受付または事務室にて駐車券をご提示ください。ご利用料金は以下の通りです。

ご利用料金

外来受診・お見舞いなど、当院ご利用の方は、3時間無料です（以後30分50円）。

Higashi Sapporo Hospital

医療法人 東札幌病院

〒003-8585
札幌市白石区東札幌3条3丁目7-35
電話 011-812-2311 (代表)
FAX 011-823-9552
E-mail: info@hsh.or.jp
HP: <http://www.hsh.or.jp>

東札幌病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重致します。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名・検査結果、受ける処置やケアの内容等について十分な説明を受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意志が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援されます。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育をうけることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

東札幌病院を受診される皆様に御協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝え下さい。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問して下さい。
3. 治療やケアの方針を決めるときには、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加して下さい。
5. 院内では常識的な社会人として行動して下さいようお願いいたします。
6. 東札幌病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 東札幌病院では各階に提案箱を設置しております。ご意見やご要望がありましたらご遠慮なくご利用下さい。